

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年10月25日(2023.10.25)

【公開番号】特開2020-6178(P2020-6178A)
 【公開日】令和2年1月16日(2020.1.16)
 【年通号数】公開・登録公報2020-002
 【出願番号】特願2019-126720(P2019-126720)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/343(2021.01)

A 6 1 B 5/33(2021.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 1 4 K

A 6 1 B 5/04 3 1 0 M

10

【誤訳訂正書】

【提出日】令和5年10月17日(2023.10.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

工程420では、1つ以上の目的の領域が識別され、目的の領域のそれぞれの、活性化指数が計算される。いくつかの実施態様では、目的の領域のうちのいずれかのそれぞれの第1の活性化指数が、第1のデータセットに基づいて計算され得る。追加的又は代替的に、いくつかの実施態様では、目的の領域を識別することは、局所活性化(Focal Activation)及び回転活性化(Rotational Activation)の検出を実行して、安定した波の領域を識別することを含み得る。一般に、局所活性化(Focal Activation)は、初期の連続したQS波として定義され得る。回転活性化(Rotational Activation)は、活性化のマイクロリエントラント回路として説明し得る。更に、回転活性化(Rotational Activation)は、ヘッドからテールまでの間隔、CLカバー、及び時間的安定性を含むがこれらに限定されない基準を満たす、活性化パターンとして定義され得る。検出された電氣的活性化が焦点又は回転活性化パターンのアルゴリズム基準を満たす場合、領域は目的の領域(ROI)としてマークされる。追加的又は代替的に、スキャンされる器官が患者の心臓であるときに目的の領域のいずれかの活性化指数を計算することは、焦点又は回転活性化を示す心拍の数を計算することを含み得る。例えば、局所活性化(Focal Activation)が10回の連続した心拍の間持続する場合、活性化指数は10に等しい。

20

30

40

50